

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

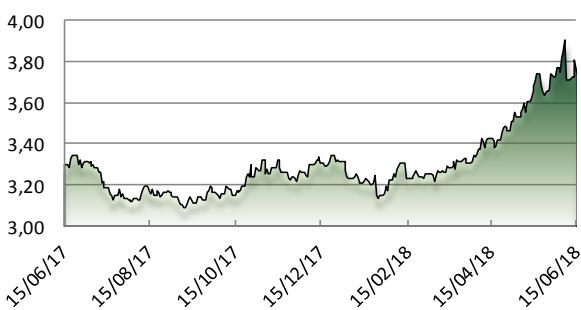
ブラジル中銀は14日の夕刻、一部で高まっていたスワップ介入に対するマーケットの疑惑を払拭するため、7日の声明文通り、245億ドル全額の流動性を供給することを改めて表明。加えて、今週以降も必要に応じて国庫庁と共同で流動性を供給すると共に、スワップ介入については約100億ドルの入札を実施するとの方針を示した(7日とは異なり、「マーケット状況に応じて入札実施額は変更する」との文言を加えて、政策に柔軟性をもたせている)。なお、スワップ残高を積み上げることに、「いかなる障害もない」とし、一時1160億ドル程度まで膨らんだ2015年3月の水準を超過しても、「問題はない」との見解を強調している。レアル相場は再び3.80台を突破する局面も見られたが、引けにかけては急速にレアルの買戻しが進行し、3.72台前半で取引を終えている。一方で、ボベスパ指数は昨年8月23日以来となる70000ポイントの大台を割り込むなど、軟調な動きが際立った。商品価格の下落に加え、トランプ政権が中国からの輸入品500億ドル相当に対する関税賦課を正式に発表したことでの影響も被った。対する中国も、米国からの輸入品に対して米側と「同等の規模及び強度」の関税を課すと共に、通商に関するこれまでのコミットメントを白紙撤回するとの報復措置を表明。米中貿易摩擦が急速にエスカレートしたこと、リスクセンチメントの悪化が新興国全体に重くのしかかると予想される。ブラジル中銀は本日から注目のCOPOMを開催。マーケットは依然として25bpsの利上げを織り込んでおり、サプライズの利上げに転じるかどうかに関心が高まっている。

マーケットデータ

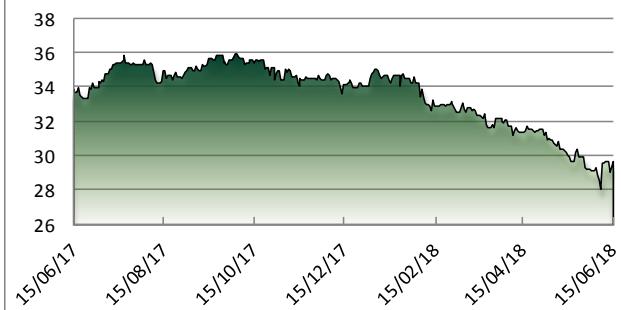
Indicator		Unit	6月14日	6月15日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,8066	3,7295	-2,03%	2,04%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,06	29,67	2,10%	-1,71%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,4043	4,3307	-1,67%	0,09%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,63	110,66	0,03%	0,28%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	127,98	128,43	0,35%	-1,68%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	71,421	70,758	-0,93%	-16,88%	88,318	69,583
CDS Brazil 5yrs		bps	270,70	272,06	0,50%	44,57%	275,86	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	12,31	12,09	-1,79%	18,84%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	7,60	7,30	-3,95%	14,96%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3347	#NAME?	#NAME?	#NAME?	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	199,01	196,24	-1,39%	-3,55%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オンブスマネージャー連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。